公共建築工事積算研究会参考歩掛り 改 定 現行 第2編 建築工事 第2編 建築工事 1.【第1節 仮 設】

本節に定める参考歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。

2 参考歩掛り

1 一般事項

(1) 適用条件及び留意事項

イ. トラッククレーンの分解・組立及び運搬に適用する。

(2)細目工種

(共通仮設)

表 RA - 1 - 1 【専】

トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型)分解・組立費 (1回当たり)

<u>名 </u>	摘 要	単位	所要量	備考
特殊作業員		人	<u>5.6</u>	
維費		式	<u>1</u>	<u> 労務費の6%</u>
そ の 他		<u>式</u>	<u>1</u>	

- (注) 1. 分解部品の運搬費は別途加算する。

 - 2 分解組立に使用するクレーンは別途加算する。3. 100 t 吊~200 t 吊のトラッククレーン (油圧伸縮ジブ型) に適用する。
 - 4.「その他」の率対象は、特殊作業員及び雑費とする。

表 RA - 1 - 2 【専】

トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型)分解部品運搬

(1往復当たり)

<u>名 </u>	摘 要	単位	<u>100t吊</u>	<u>120t吊</u>	<u>160t吊</u>	<u>200t吊</u>	備考
トラック運転	<u>11t積</u>	且	<u>3.7</u>	4.1	<u>5.8</u>	12.7	

(注) 1. 運搬機械の日数はトラック 11 t 積による換算値とする。

改 定

2. 【第2節 土 工】

※1 一般事項及び2 参考歩掛り(1)適用条件及び留意事項 改定なし

(2)細目工種

※表 RA-2-1~表 RA-2-37 改定なし

(土工機械)

表 RA - 2 -38 【市】【専】

土工機械運転

(1日当たり)

土工機械運	坤				(1	日当たり)
機械名	規格	適用単価表	運転労務	燃料(軽油)	機械損料	備考
			(人)	(L)	(供用日)	
i 九十占	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	140	1.50	
バックホウ	油圧式クローラ型 1.4m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>140</u>	<u>1.50</u>	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	97 E	1.50	_
バックホウ	油圧式クローラ型 0.8m ³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>87.5</u>	$\frac{1.50}{1.50}$	
バックホウ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	FO 1	1.50	
ハックホワ	油圧式クローラ型 0.45 m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>50.1</u>	<u>1.50</u>	
バックホウ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	94.4	1.50	
<u>ハック</u>	油圧式クローラ型 0.28m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	34.4	<u>1.50</u>	
バックホウ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	22.4	1.78	
<u>ハック </u>	油圧式クローラ型 0.13m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	22.4	1.76	
クラムシェル	油圧ロープ式	単価表 1	1.0	101	1 50	
	クローラ型 0.6m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	101	1.50	
ブルドーザ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	CO F	1 67	
フルドーリ 	普通 15t 級	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>68.5</u>	<u>1.67</u>	
ブルドーザ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	90 5	1.07	_
7 N F - 9	普通 3t 級	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>20.5</u>	<u>1.67</u>	
タイヤローラ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	25.0	1.00	_
<u> </u>	8~20t	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>35.0</u>	1.86	
振動ローラ	排出ガス対策型	単価表 2		188	1 57	_
派動ローノ	搭乗式・タンテム型 2.4~2.8t	(別表 RA-2-38-2)	_	<u>15.5</u>	1.57	
振動ローラ	ハンドガイド式	単価表 2		6.7	1.50	
派動ローノ	0.8~1.1t	(別表 RA-2-38-2)	_	6.7	1.50	
タンパ	60~80kg	単価表 2		5.0	1 00	
7 / N	ou coukg	(別表 RA-2-38-2)		(ガソリン)	1.33	

1. 【第2節 土 工】

(2)細目工種

(土工機械)

表 RA - 2 -38 【市】【専】

土工機械運転

(1日当たり)

機械名	規格	適用単価表	運転労務	燃料(軽油)	機械損料	備考
			(人)	(L)	(供用日)	
of the death	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	170	1.04	
バックホウ	油圧式クローラ型 1.4m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>150</u>	<u>1.64</u>	
. S . L . L . L	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	0.1.1	1.04	
バックホウ	油圧式クローラ型 0.8m ³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	94.1	<u>1.64</u>	
. 8 h . L . L	排出ガス対策型	単価表 1	1.0		1.01	
バックホウ	油圧式クローラ型 0.45m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>53.9</u>	<u>1.64</u>	
. 8 h . L . L	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	0.7.0		
バックホウ	油圧式クローラ型 0.28m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>37.0</u>	<u>1.64</u>	
. 8 h . L . L	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	99.4	1.50	
バックホウ	油圧式クローラ型 0.13m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	22.4	1.78	
クラムシェル	油圧ロープ式	単価表 1				
	クローラ型 0.6m³	(別表 RA-2-38-1)	1.0	101	1.50	
ブルドーザ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	5 0. 7	1.75	
フルドーサ	普通 15t 級	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>73.5</u>	<u>1.75</u>	
ブルドーザ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0			
ノルトーサ	普通 3t 級	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>22.1</u>	<u>1.75</u>	
タイヤローラ	排出ガス対策型	単価表 1	1.0	22.0	1.00	
ダイヤローフ	8∼20t	(別表 RA-2-38-1)	1.0	<u>36.0</u>	1.86	
	排出ガス対策型	単価表 2		100	1 25	
振動ローラ	搭乗式・タンテム型 2.4~2.8t	(別表 RA-2-38-2)	_	<u>16.0</u>	1.57	
七卦	ハンドガイド式	単価表 2		0.5	1 50	
振動ローラ	0.8~1.1t	(別表 RA-2-38-2)		6.7	1.50	
<i>h</i>	ao 001	単価表 2		5.0	1.00	
タンパ	60~80kg	(別表 RA-2-38-2)	_	(ガソリン)	1.33	

現 行

改定

別表 RA - 2 -38-1 【市】

運転1日当たり単価表1

(1日当たり)

名	称	摘	要	単位	所要量	備考
運転手	(特殊)			人		表 RA- 2-38 による
燃	料			L		表 RA- 2-38 による
機械	損 料			供用日		表 RA- 2 -38 による
そ	の 他			式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(特殊)、燃料とする。

別表 RA - 2 -38-2 【市】

運転1日当たり単価表2

(1日当たり)

名	称	摘	要	単位	所要量	備考
特殊作	乍業 員			人	1.0	
燃	料			L		表 RA- 2-38 による
機械	損料			供用日		表 RA- 2 -38 による
そ の) 他			式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、燃料とする。

表 RA - 2 -39 【市】

土工機械運搬

(1日当たり往復)

名 称	摘 要	単位	所要量	備考
トラック運転	11t 積	日	別表	所要量は別表 RA-2-39-1 による

別表 RA - 2 -39-1 【市】【専】

土工機械運搬

機 械 名	規格	質量	運搬機	械	備考
饭 饭 石	次 竹	(t)	規格	日数(往復)	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /
バックホウ	排出ガス対策型	91.0	トラック 11t 積	2.9	分解組立別途加算
<u></u>	油圧式クローラ型 1.4m³	31.8	トノツク III 傾	2.9	刀胜私力还加昇
バックホウ	排出ガス対策型	19.8	トラック 11t 積	2.0	
	油圧式クローラ型 0.8m³	19.0	ドククク IIt 作	2.0	
バックホウ	排出ガス対策型	10.7	トラック 11t 積	1.4	
	油圧式クローラ型 0.45m³	10.7	ドククク IIt 作	1,4	
バックホウ	排出ガス対策型	6.4	トラック 11t 積	1.1	
7	油圧式クローラ型 0.28m³	0.4		1.1	

現行

別表 RA - 2 -38- 1 【市】

運転1日当たり単価表1

(1日当たり)

名	称	摘	要	単位	所要量	備考
運転手	(特殊)			人		表 RA- 2 -38 による
燃	料			L		表 RA- 2-38 による
機械	損 料			供用日		表 RA- 2 -38 による
そ	の他			式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(特殊)、燃料とする。

別表 RA - 2 -38- 2 【市】

運転1日当たり単価表2

(1日当たり)

名	称	摘	要	単位	所要量	備考
特殊	作業員			人	1.0	
燃	料			L		表 RA- 2-38 による
機械	損料			供用日		表 RA- 2-38 による
そ	の他			式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、燃料とする。

表 RA - 2 -39 【市】

土工機械運搬

(1日当たり往復)

名 称	摘 要	単位	所要量	備考
トラック運転	11t 積	日	別表	所要量は別表 RA-2-39-1 による

別表 RA - 2 -39-1 【市】【専】

土工機械運搬

機械名	規格	質量	運搬機	械	備考	
	·	(t)	規格	日数(往復)	1 1/H ¹ /5	
バックホウ	排出ガス対策型	31.8	トラック 11t 積	2.9	分解組立別途加算	
ハックホワ	油圧式クローラ型 1.4m³	31.0	トノソン 111 個	2.9	万胜租业別述加异	
バックホウ	排出ガス対策型	19.8	トラック 11t 積	2.0		
	油圧式クローラ型 0.8m³	13.0	トクラク 110 /貝	2.0		
バックホウ	排出ガス対策型	10.7	トラック 11t 積	1.4		
	油圧式クローラ型 0.45m³	10.7	トクラク 110 /貝	1,4		
バックホウ	排出ガス対策型	6.4	トラック 11t 積	1.1		
	油圧式クローラ型 0.28m³	0.4	1 / / / / 116 作	1.1		

			改定		
バックホウ	排出ガス対策型	4.2	トラック 11t 積	0.0	
	油圧式クローラ型 0.13m³	4.2	トノツク III 傾	0.9	
クラムシェル	油圧ロープ式	33.7	トラック 11t 積	3.1	分解組立別途加算
) / A V ± N	クローラ型 0.6m ³	33.7	トノツク III 傾	5.1	刀胜租工加壓加昇
ブルドーザ	排出ガス対策型	14.6	トラック 11t 積	1.7	
	普通 15t 級	14.6	トノツク III 惧	1.7	
ブルドーザ	排出ガス対策型	2.0	トラック 11t 積	0.0	
	普通 3t 級	3.8	トノック III 傾	0.9	
タイヤローラ	排出ガス対策型	140	しラッカ 114 往	1.7	
7774	8∼20t	14.8	トラック 11t 積	1.7	
	排出ガス対策型	0.5	トラック 114 往	0.8	
加助ローク	搭乗式・タンデム型 2.4~2.8t	2.5	トラック 11t 積 	0.8	

(注) 1.運搬機械の日数は、トラック 11t 積による換算値である。

表 RA - 2 -40 【市】

トラック運転

(1日当たり)

名	称		摘	要	単位	11t 積	備考
運転手	(一般)				人	1.0	
燃	料	軽油			L	<u>46.7</u>	
機械	損料				供用日	1.13	
そ σ) 他				式	1	

(注) 1.「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

※表 RA-2-41 改定なし

			現 行		
バックホウ	排出ガス対策型	4.2	トラック 11t 積	0.9	
<u></u>	油圧式クローラ型 0.13m³	4.2	トノツク III 傾	0.9	
クラムシェル	油圧ロープ式	33.7	トラック 11t 積	3.1	分解組立別途加算
クノムシエル	クローラ型 0.6m ³	33.7		5.1	7 胜租业剂还加昇
ブルドーザ	排出ガス対策型	14.0	しラッカ 114 往	1.7	
ノルドーリ	普通 15t 級	14.6	トラック 11t 積	1.7	
ブルドーザ	排出ガス対策型	0.0	トラック 11t 積	0.0	
ノルドーリ	普通 3t 級	3.8	トノツク III 惧	0.9	
h / h n . =	排出ガス対策型	140	し ラ 、 カ 114 往	1.7	
タイヤローラ	8∼20t	14.8	トラック 11t 積	1.7	
振動ローラ	排出ガス対策型	0.5	し コ 、 カ 114 年	0.0	
派則ローク	搭乗式・タンデム型 2.4~2.8t	2.5	トラック 11t 積	0.8	

(注) 1.運搬機械の日数は、トラック 11t 積による換算値である。

表 RA - 2 -40 【市】

トラック運転

(1日当たり)

名	称	摘	要	単位	11t 積	備考
運転手	(一般)			人	1.0	
燃	料	軽油		L	<u>47.3</u>	
機械	損料			供用日	1.13	
ك	か 他			式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

改 定

<u>4</u>.【第4節 鉄 筋】

※1 一般事項及び2 参考歩掛り(1)適用条件及び留意事項 改定なし

(2)細目工種

※表 RA-4-1~表 RA-4-7 改定なし

表 RA - 4 - 8 【専】

トラック運転

(1日当たり)

名 称	摘 要	単位	4t積	備考
運転手(一般)		人	1.0	
燃料	軽油	L	<u>25.7</u>	
機械損料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1.「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

表 RA - 4 - 9 【市】

鉄筋加工組立(小型構造物)

(1t当たり)

	名		称		摘	要	単位	小型構造物	備	考
鉄		筋		I.			人	4.5		
普	通	作	業	員			人	0.9		
結		束		線	#21		kg	6.0		
そ		の		他			式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、鉄筋工、普通作業員、結束線とする。

3.【第4節 鉄 筋】

(2)細目工種

表 RA - 4 - 8 【専】

トラック運転

(1日当たり)

名 称	摘 要	単位	4t積	備 考
運転手 (一般)		人	1.0	
燃料	軽油	L	<u>26.0</u>	
機械損料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

現 行

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

表 RA - 4 - 9 【市】

鉄筋加工組立(小型構造物)

(1t当たり)

	名		称			摘	要	単位	小型構造物	備	考
鉄		筋		I.				人	4.5		
普	通	作	業	員				人	0.9		
結		束		線	#21			kg	6.0		
そ		Ø		他				式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、鉄筋工、普通作業員、結束線とする。

改定 現行

6.【第6節型枠】

※1 一般事項及び2 参考歩掛り(1)適用条件及び留意事項 改定なし

(2)細目工種

※表 RA-6-1~表 RA-6-3 改定なし

表 RA - 6 - 4 【専】

トラック運転

(1 日当たり)

名 称	摘 要	単位	4t積	備考
運転手 (一般)		人	1.0	
燃料	軽油	L	<u>25.7</u>	
機械損料		供用日	1.13	
その他		式	1	

(注) 1.「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

18. 【第 20 節 排水】

※1 一般事項及び2 参考歩掛り(1)適用条件及び留意事項 改定なし

(2) 細目工種

※表 RA-20-1~表 RA-20-1-4 <u>改定なし</u>

別表 RA -20- 1 - 5 【設】

トラック運転

(1日当たり)

名 称	摘 要	単位	4t積	備考
運転手 (一般)		人	1.0	
燃料	軽油	L	<u>25.7</u>	
機械損料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1.「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

5.【第6節型枠】

(2)細目工種

表 RA - 6 - 4 【専】

トラック運転

(1日当たり)

名	称	摘	要	単位	4t積	備考
運転手	(一般)			人	1.0	
燃	料	軽油		L	<u>26.0</u>	
機械	損料			供用日	1.13	
そ(の 他			式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

17. 【第 20 節 排水】

(2)細目工種

別表 RA -20- 1 - 5 【設】

トラック運転

(1日当たり)

名	称		摘	要	単位	4t積	備考
運転手 (一般)				人	1.0	
燃	料	軽油			L	<u>26.0</u>	
機械	損料				供用日	1.13	
そ の	他				式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

改 定 現 行

20. とりこわし

1 一般事項

本節に定める参考歩掛りにおける仕様は、建築物解体工事共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部)に基づく解体工事を前提としている。

2 参考歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ.「(2) 細目工種 表RA-22-4~表RA-22-10」においては、鉄筋コンクリート造及び鉄骨 鉄筋コンクリート造のとりこわしに適用する。
- ロ.「(2) 細目工種 表RA-22-1~表RA-22-3」においては、下記のとおりとする。

(イ) 適用条件

- ・原則として事務を取扱う庁舎の基礎を含めた解体に適用する。
- ・原則として鉄筋コンクリート造地上4階以下に適用する。なお、建物の地下階、免震及び制振構造の建物の場合には適用できない。
- ・原則として独立基礎の場合に適用する。なお、全面ピットの建物には適用できない。
- ・地上からの作業による解体工法に適用する。
- ・ベースマシンは、バックホウ $0.8 \text{m}^3 2$ 台及び $0.5 \text{m}^3 1$ 台を標準とする。 $\frac{\text{ck}}{\text{ch}}$ を標準とする。 $\frac{\text{ck}}{\text{ch}}$ を標準とする。 $\frac{\text{ck}}{\text{ch}}$ を標準とする。 $\frac{\text{ck}}{\text{ch}}$ を標準とする。 $\frac{\text{ck}}{\text{ch}}$ を標準とする。 $\frac{\text{ck}}{\text{ch}}$ を標準とする。
- ・ベースマシンの運搬に要する費用は、重機 0.8m³2 台及び 0.5m³1 台を別途計上する。なお、敷地に余裕 のない場合は適用できない。
- ・圧砕機が主体の解体を標準とする。
- ・外構及び工作物の解体には適用できない。

(口) 留意事項

上部躯体とは、1階床面より上部をいう。また、基礎部躯体とは、1階床面より下部をいう。なお、仕上げ等とは、躯体の解体に先がけて行う必要がある仕上げ材等をいう。

1 一般事項

19. とりこわし

本節に定める参考歩掛りにおける仕様は、建築物解体工事共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部)に基づく解体工事を前提としている。

2 参考歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ.「(2) 細目工種 表RA-22-4~表RA-22-10」においては、鉄筋コンクリート造及び鉄骨 鉄筋コンクリート造のとりこわしに適用する。
- ロ. 「(2) 細目工種 表RA-22-1~表RA-22-3」においては、下記のとおりとする。 (イ) 適用条件
 - ・原則として事務を取扱う庁舎の基礎を含めた解体に適用する。
 - ・原則として鉄筋コンクリート造地上4階以下に適用する。なお、建物の地下階、免震及び制振構造の建物の場合には適用できない。
 - ・原則として独立基礎の場合に適用する。なお、全面ピットの建物には適用できない。
 - ・地上からの作業による解体工法に適用する。
 - ・ベースマシンは、バックホウ 0.8m³ を標準とする。<u>また、ベースマシンの運搬に要する費用は、重機</u> 0.8m³2 台及び 0.5m³1 台を別途計上する。なお、敷地に余裕のない場合は適用できない。
 - ・圧砕機が主体の解体を標準とする。
 - ・外構及び工作物の解体には適用できない。
- (口) 留意事項

上部躯体とは、1階床面より上部をいう。また、基礎部躯体とは、1階床面より下部をいう。なお、仕上げ等とは、躯体の解体に先がけて行う必要がある仕上げ材等をいう。

改 定

(2)細目工種

(2)細目工種

※表 RA-22-1~表 RA-22-5 改定なし

表 RA -22- 6 【専】

とりこわし機械運転

(1日当たり)

こうこうじ成り	ν. Ε. τ Δ	(1 1 7				
機械名	規格	適用単価表	運転労務	燃料(軽油)	機械損料	備考
/戏/灰/石	及 俗	週用早間衣	(人)	(L)	(供用日)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	バックホウ	単価表1				
ベースマシン	排出ガス対策型	(RA-22-6-1)	1	<u>87.5</u>	<u>1.50</u>	
	油圧式クローラ型0.8m ³					
	バックホウ	単価表1				
ベースマシン	排出ガス対策型	(RA-22-6-1)	1	<u>53.6</u>	<u>1.50</u>	
	油圧式クローラ型0.5m ³					
バックホウ	排出ガス対策型	単価表1	1	<u>87.5</u>	1.50	
	油圧式クローラ型0.8m ³	(RA-22-6-1)	1	<u>01.0</u>	<u>1.50</u>	
ダンプトラック	10 t 積級	単価表2	1	58.1	1.29	
	10 0 15/100	(RA-22-6-2)	1	56.1	1.23	
ダンプトラック	4 t 積級	単価表2	1	32.0	1.29	
タンノトフツク	生して質が久	(RA-22-6-2)	1	52.0	1.23	
ダンプトラック	2 t 積級	単価表2	1	20.8	1 20	
ダンプトラック	△ し 行員 //)X	(RA-22-6-2)	1	20.0	1.29	

別表 RA -22- 6 - 1 【専】

運転1日当たり単価表1

(1日当たり)

名	7	称		摘	要	単位	所要量	備考
運転	手	(特列	殊)			人		表RA-22- 6 による
燃			料			L		表RA-22-6 による
機	械	損	料			供用日		表RA-22- 6 による
そ	0)	他			式	1	

(注) 1.「その他」の率対象は、運転手(特殊)及び燃料とする。

別表 RA -22- 6 - 2 【専】

運転1日当たり単価表2

(1日当たり)

名 称	摘 要	単位 所要量	備考
運転手(一般)		人	表RA-22- 6 による
燃料		L	表RA-22- 6 による
機械損料		供用日	表RA-22- 6 による
タイヤ損耗費		供用日	所要量は機械損料による

表 RA -22- 6 【専】

とりこわし機械運転

(1日当たり)

機械名	規格	適用単価表	運転労務 (人)	燃料(軽油) (L)	機械損料 (供用日)	備考
	バックホウ	単価表1				
ベースマシン	排出ガス対策型	(RA-22-6-1)	1	<u>94.1</u>	<u>1.64</u>	
	油圧式クローラ型0.8m ³					
	バックホウ	単価表1				
ベースマシン	排出ガス対策型	(RA-22-6-1)	1	<u>57.7</u>	<u>1.64</u>	
	油圧式クローラ型0.5m ³					
バックホウ	排出ガス対策型	単価表1	1	04.1	1 64	
	油圧式クローラ型0.8m ³	(RA-22-6-1)	1	<u>94.1</u>	<u>1.64</u>	
ダンプトラック	10 t 積級	単価表2	1	58.1	1.29	
	10 计有机	(RA-22-6-2)	1	56.1	1.23	
ダンプトラック	4 t 積級	単価表2	1	32.0	1.29	
	生し行列以	(RA-22-6-2)	1	52.0	1.23	
ダンプトラック	2 t 積級	単価表2	1	90.0	1.29	
	2 1 19/100	(RA-22-6-2)	1	20.8	1.29	

現 行

別表 RA -22- 6 - 1 【専】

運転1日当たり単価表1

(1日当たり)

名	称		摘	要	単位	所要量	備考
運転手	(特別	‡)			人		表RA-22- 6 による
燃		料			L		表RA-22- 6 による
機械	損	料			供用日		表RA-22- 6 による
そ	Ø	他			式	1	

(注) 1.「その他」の率対象は、運転手(特殊)及び燃料とする。

別表 RA -22- 6 - 2 【専】

運転1日当たり単価表2

(1日当たり)

名 称	摘 要	単位 所要量	備考
運転手 (一般)		人	表RA-22- 6 による
燃料		L	表RA-22- 6 による
機械損料		供用日	表RA-22- 6 による
タイヤ損粍費		供用日	所要量は機械損料による

改定 その他 式 1

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

表 RA -22- 7 【専】

とりこわし機械運搬

(1 往復当たり)

名 称	摘 要	単位	所要量	備考
トラック運転	11t積	目	別表	所要量は別表RA-22-7-1による

別表 RA -22- 7 - 1 【専】

とりこわし機械運搬

機械名	規格	質量	運搬	備考	
一	及 俗	(t)	規格	日数(往復)	1 州 行
バックナウ	排出ガス対策型	10.0	トラック11 t 積	2.0	
バックホウ	油圧式クローラ型0.8m ³	19.8			
だい 九十 占	排出ガス対策型	12.1	トラック11 t 積	1 5	
バックホウ 	油圧式クローラ型0.5m ³	12.1		1.5	

表 RA -22- 8 【専】

トラック運転

(1 日当たり)

名 称	摘 要	単位	11t積	備考
運転手 (一般)		人	1.0	
燃料	軽油	L	<u>46.7</u>	
機械損料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

表 RA -22- 9 【専】

とりこわし材運搬

(1m³当たり往復)

名 称	摘 要	単位	数量	備 考
ダンプトラック運転	10t積級	目	D/100	運搬日数(D)は次式による。

運搬日数の算定式

 100 m^3 当たり運搬日数(D)= 100 m^3 当たり運搬日数(D1)×補正係数(k)

※表 RA-22-10 改定なし

現行

その他 式 1

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

表 RA -22- 7 【専】

とりこわし機械運搬

(1 往復当たり)

名 称	摘 要	単位	所要量	備考
トラック運転	11t積	Ħ	別表	所要量は別表RA-22-7-1による

別表 RA -22- 7 - 1 【専】

とりこわし機械運搬

機械名	規格	質量	運搬	幾械	備考
茂恢石	及 符	(t)	規格	日数(往復)	加 与
バックホウ	排出ガス対策型	10.0	トラック11 t 積	9.0	
ハックホワ	油圧式クローラ型0.8m ³	19.8	トノツク11 1 傾	2.0	
バッカナウ	排出ガス対策型	10.1	しラッカ11 4 往	1 5	
バックホウ	油圧式クローラ型0.5m ³	12.1	トラック11 t 積	1.5	

表 RA -22- 8 【専】

トラック運転

(1日当たり)

名 称 摘 要	単位	11t積	備考
運転手 (一般)	人	1.0	
燃 料 軽油	L	<u>47.3</u>	
機械損料	供用日	1.13	
その他	式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

表 RA -22- 9 【専】

とりこわし材運搬

(1m³当たり往復)

名 称	摘 要	単位	数量	備考
ダンプトラック運転	10t積級	日	D/100	運搬日数(D)は次式による。

運搬日数の算定式

100m³ 当たり運搬日数(D)=100m³ 当たり運搬日数(D1)×補正係数(k)

公共建築工事積算研究会参考歩掛り

第1節 共通工事

改定前

(2)細目工種

(配管工事)

表 RE-1-1 【市】

電線管											
					材料						
細目	摘要	単位	厚鋼	薄鋼	ねじなし	硬質ビニル		雑材料	電工	その他	備考
Wh 🗀	3101355	平位	電線管	電線管	電線管	電線管	附属品	本世代7月本年		CVALE	VIII ^-j
			[m]	[m]	[m]	[m]			[人]		
	16								0.060		
	22		1.1				1式	1式	0.080		
	28						電	_	0.103		
	36						線管	材 料	0.124		
厚鋼電線管	42	m					価格	価格	0.170		
(G)	54	111					×	×	0. 229		
	70		1.05				0. 25	0.05	0. 266]	
	82							_	0.323		
	92								0.360		
	104								0.402		
	19						1式	1式	0.052		
	25			1.1			電	。 材	0.070		
薄鋼電線管	31						線管	料	0.089		
(C) (C)	39	m					価格	価格	0.109		
(0)	51			1.05			×	×	0.147		
	63			1.00			0. 25	0.05	0.198	1式	
	75						Ü)	0.231	124	
	19						1式	1式	0.042		
	25				1.1		電	<u></u>	0.056		
ねじなし	31						線管	材料	0.071		
電線管	39	m					価格	価格	0.087	ļ	
(E)	51				1.05		×	×	0. 118		
	63				1.00		0.5	0.05	0. 159	ļ	
	75						Ÿ)	0. 185		
	16						1式	1式	0.044		
	22					1.1	電	材	0.054		
硬質ビニル	28						線管	料	0.064		
電線管	36	m		ļ			価格	価格	0.086		
<u>(VE)</u> ※HIVE含む	42						×	×	0. 108		
※HIVE B CP	54					1.05	0.3	0.05	0.130		
	70						_		0.162	Į l	
	82			l			l		0.194		

改定後

- (注) 1. 本表の電工の歩掛りは、隠ぺい又はコンクリート打込みの場合の歩掛りである。露出配管 の場合は、電工の歩掛りを1.2倍し、そのうち、はり巻き配管等の場合で附属品を必要とす るときには別途その費用を考慮する必要がある。
 - 2. 労務には、管の切断、ねじ切り(硬質ビニル電線管及びねじなし電線管は除く。)、曲げ、 支持金具類の取付け、管内の清掃及び導通調べを含み、アウトレットボックスの取付けを
 - 3. 雑材料には、支持金具類のうち取付金具を含み、別途計上すべき支持材料は含まない。
 - 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

(2) 細目工種

第3編 電気設備工事

1-2 参考歩掛り

(配管工事)

表 RE-1-1 【市】

					材料						
細目	摘要	単位	厚鋼 電線管	薄鋼 電線管	ねじなし 電線管	要賞ビニル 電線管	附属品	雑材料	電工	その他	備考
			[m]	[m]	[m]	[m]			[人]		
	16								0.060		
	22		1.1				1式	1式	0.080		
	28						Ê	0	0.103		
	36						線管	材 料	0.124	ļ	
厚鋼電線管	42	m					- 繰 管 価 格	価 格	0.170		
(G)	54	111					×	×	0.229		
	70		1.05				0. 25	0.05	0.266		
	82						. ~)	0.323		
	92								0.360		
	104								0.402		
	19						1式	1式	0.052		
	25			1. 1			電電	₹ 1	0.070		
薄鋼電線管	31	İ					線 管 価	析価	0.089		
(C)	39	m					格	格 ×	0.109		
	51 63			1.05			0. 25	0.05	0.147		
	75						0.25	U. US	0. 198 0. 231	1式	
	19						1式		0. 231		
	25				1.1		-	1式	0.042		
ねじなし	31				1.1		電線	へ 材 料 価	0.030	1	
電線管	39	m					管価	価	0.087		
(E)	51						格 ×	格 ×	0.118	1	
	63				1.05		0. 5	0.05	0. 159		
	75						_	· ·	0.185	1	
	16						1式	1式	0.044	1	
	22					1.1	<u></u>		0.054	1	
	28						龍線	材料	0.064		
硬質ビニル	36						普価	価格	0.086	1	
電線管 (VE、HIVE)	42	m					格 ×	×	0.108]	
(10, 11111)	54					1.05	0.3	0.05	0.130]	
	70						~)	0.162		
	82								0.194	1	

- (注) 1. 本表の電工の歩掛りは、隠ぺい又はコンクリート打込みの場合の歩掛りである。露出配管 の場合は、電工の歩掛りを1.2倍し、そのうち、はり巻き配管等の場合で附属品を必要とす るときには別途その費用を考慮する必要がある。
 - 2. 労務には、管の切断、ねじ切り(硬質ビニル電線管及びねじなし電線管は除く。)、曲げ、 支持金具類の取付け、管内の清掃及び導通調べを含み、アウトレットボックスの取付けを
 - 3. 雑材料には、支持金具類のうち取付金具を含み、別途計上すべき支持材料は含まない。
 - 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

公共建築工事積算研究会参考歩掛り

第3編 電気設備工事 第2節 電力設備工事 2-2 参考歩掛り (2)細目工種

改定後

(動力設備)

表 RE-2-11 【市】

	その他接続材																								材	料																									Т	\neg
				[種金属	製可と	こう電	線管				L	-						カッフ									0 0			ボッ	クスコ	コネク	9					ロック	ナット	`		=			ブ:	ッシン	<u>/</u>			7		
細目	摘要	単位 (15	F2 <u>F</u> 2 (17) (2		F2 I	2 F2 0) (63	<u>F2</u> (76)	F2 (83) (1	(17 (17	E (25) (25)	 <u>F2</u>) (30)	 <u>F2</u> (38) (3	 <u>F2</u>			 F2		C (51) (<u>F2</u> (50) (<u>F2</u> <u>F</u> 63) (7)	5) (16) 2 <u>F2</u> 6) (15)	(16) <u>F2</u> (17)	 <u>F2</u>	 F2 F2 30) (38)	 <u>F2</u> (50) (6		 <u>F2</u> (83)	G G (92) (104	(15) (1	17) (24					(83) (1	(16	(22)	(31) (3 (28) (3	6) (42)	(54)	(82 (70)		(104)	16) (22)	(28)	(36)	51) (63) 42) (54)	(70)		92) (10			の他値
	P(10) P0(17)	[m] [m] [n	i] [m]	[m] [r	n] [m]	[m]	[m] [m] [f#	E (181	[[(100)	[100]	相 [1	al [fal	[個]	CHOOL CH	利 [相	[個]	(M) [1)	图 [相	[個]	CMED E	1周 [1周	[個] [西 [相	[相]	[個] [個	CHEED CA	個(個	(HX)	[18]	E1100 E11	al (1a)	EMED EM	100 (100	[個]	[18] [1	50 (AM)	[個	[個] [個	[相]	[個] [(周) [個	[18]	(da) [:	(周) [周	[個]	[120]	[相] [相	0.02		-
	E(19) - <u>F2</u> (17)	_	0. 5			-		+	1				+									-				Н			1			-			1				Н		+	+	1	\vdash		+					4	
	E(25) - F2(24)		0.							1			_																1							1							1							0. 03		
	E(31) - F2(30)			0.5			11				1		_			-		 		-						-				1		_	_			-	1			_	-			1				-		0. 04		
	E(39) - F2(38)				0. 5	_			_			1	_				_		_	_									_		1	_						_			1				1					0. 05	-	
	E(51) - F2(50)		1		0.	. 5	<u> </u>						1		<u> </u>			ļļ.	_					ļļ.		<u> </u>						1						1			1			ļ		1				0. 08	3	
	E(63) - F2(63)					0.	5										_			_												1							1		1					1				0. 11)	
	E(75) - F2(76)						0.5							1																			1							1							1			0. 13)	
	C(19) - F2(17)		0. 5												1														1						1								1							0. 02		
	C(25) - F2(24)		0.	5												1													1							1							1							0. 03	7	
	C(31) - <u>F2</u> (30)			0.5													1													1							1							1						0.04	5	
	C(39) -F2(38)				0. 5												1														1						1								1					0. 05	2	
	C(51) - <u>F2</u> (50)				0.	. 5												1	T													1						1								1				0. 08	3	
接続材料	C(63) -F2(63)	か所				0.	5												1													1							1							1				0. 11) 1	式
	C(75) -F2(76)						0.5												1	l													1							1							1			0. 13)	
	G(16) - F2(15)	0.	5																	1		T						1							1							T	1			Т				0. 02	3	
	G(16) -F2(17)		0. 5												<u> </u>						1			1		1			1						1						1		1	1						0. 02	9	
	G(22) - F2(24)		0.	5						<u> </u>								-				1							1							1							1							0. 03	7	
	G(28) - <u>F2</u> (30)			0.5						-							<u> </u>		_				1							1							1				1			1			-			0. 04	5	
	G(36) - <u>F2</u> (38)		1-1-		0. 5	_	T		1	<u> </u>	1	T^{\dagger}	_	1	TT	1	1	TT	1		T		1	1-1-	-				_		1	_	_		1		1	1	T					\Box	1	1		7		0. 05	2	
	G(42) - F2(50)				0.	. 5	\Box	T		T	\top	Ħ	†	\top	H	T	\top	Ħ	T	\top	П	†	\top	1	\top	Ħ		\top	\top	T		1	\top		\top	\Box	\top	1	П		Ħ	\top		H	\top	1		_		0. 08	3	
	G(54) - F2(63)		1			0.	5			-					T				-	-			_		1					-		1			_				1		+					1		-		0. 11)	
	G(70) -F2(76)		1			-	0. 5			+		-	+	+		-	+		+			+		 -	1	1			-	+		_	1		-	1		-	1	1	T						1			0. 13		
	G(82) -F2(83)			+		+	1). 5	+	-	-	-	+	+-		-	-		+	+-	\vdash	_		\vdash		1		-		+			-	1		+			+	1	+	_		+	-	+		1		0. 15	-	
	G(92) -F2(101)		++	+-+		-	++		5	+	+	-	+		\vdash				+	+	+				-	+-	1		-	+			-		1	+			\vdash		1			\vdash		-		-	1	0. 17	-	
	G(92) - <u>F2</u> (101) G(104) - <u>F2</u> (101)						+							+										-		-				-					-	-			-		+ 1						-	\dashv	-	0. 17		

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

公共建築工事積算研究会参考歩掛り

第3編 電気設備工事 第2節 電力設備工事 2-2 参考歩掛り (2)細目工種

改定前

(動力設備)

表 RE-2-11 【市】

電助機-	の他接続材																												L det																										_
					可	とう	電線	管												カッ	プリ	ング						材	料					ボック	7スコン	ネクタ					12	ックラ	ナット			\top			ブッシ	ング			-		
細目	摘要	単位	<u>F</u> (15) ((30)	(38)	(50)	<u>F</u> (63) (7	F <u>J</u> 76) (8	E <u>I</u> 3) (10	F	E (25) — <u>F</u> (24)	E (31) (3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 F <u>I</u>	 <u>F</u> (63)		 <u>F</u> (17) (F	(63) <u>F</u> (63)		 <u>F</u> (15) (1	16) (2: <u>F</u> <u>J</u> 17) (2:	G (28) (28)	G (36) 上 (38)	 <u>F</u> (50) ((82) <u>F</u> (83)	(92) <u>F</u> (101)	104) (1 <u>F</u> 101)	5) (17	(24)		(38) (50	(63) (63)		83) (10	(16	(22) (2	31) (39) 28) (36)	(42)	1 1	(82) (9	92) (104)	(16)			(42)		(82) (9	(92) (104	34)	その	他 備
	E(19) - F(17)		[m] [] [m]	[m]	LmJ	[m] [m) [n	nj Lm	1	LINCU	LIAU LI	INPEL ETH	AL LIME	LINAL	LIM	LIMI LIK	N CIRC	LIM	FINAL	DIN	LIPE	100 (19	AL LIME	Line	LIMI	NAU LINA	U LIAU	LIME	LING LI	1	U LINU	LIAU	LIIAU LIIA	AL LIME	UMU L	JAU LIK	1	LIAU LI	INI LINI	LIAU	LIMI LIM	LIAU	AL LINE	1	LIME LIM	AU LIAU	LIMI	LIAU LIAU	LIMI	JIAU LIIA	0.029		+
	E(25) -F(24)			0.	5					+	+	1	+		+															\Box			1	H		+				1					+	+	1	++	\vdash		H	+	0. 037	-	
	E(31) -F(30)				0. 5								1						-										-	1				1						1	1		_	-	-		1	1					0. 045	1	
	E(39) -E(38)				-	0. 5					-			1					-										-	1					1						1	-		 	-			1				-	0. 052	-	
	E(51) - F(50)		\Box		\top		0. 5							1												Ħ				П					1		\Box			Ħ		1		П	\top	Ħ	\top	\forall	1		Ħ		0. 083	1	
	E(63) -F(63)				<u> </u>			0. 5						-	1															1				1 1		1				1 1			1		-	1		1		1			0. 110	-	
	E(75) -F(76)			_				0	. 5	_						1			-					_					<u> </u>								1						1	†						1			0. 130	1	
	C(19) -E(17)		0	. 5													1													П		1				T			1						\top	1	\top	\top	П		П		0. 029		
	C(25) - <u>F</u> (24)			0.	5													1								1	*********			1			1							1							1						0.037	1	
	C(31) - <u>F</u> (30)				0. 5						1							1																1							1					111	1	1			П		0. 045	1	
	C(39) - <u>F</u> (38)				<u> </u>	0. 5													1							1									1						1							1					0. 052	1	
	C(51) -E(50)						0. 5													1															1							1							1				0. 083	1	
接続材料	C(63) -E(63)	か所						0. 5													1															1							1							1			0. 110	1 ₹	夫
	C (75) -F(76)							0	. 5													1															1						1							1			0. 130		
	G(16) - <u>F</u> (15)		0.5																				1								1	1							1							1		П					0. 023		
	G(16) -E(17)		0	. 5																				1								1							1							1							0. 029		
	G(22) -E(24)			0.	5																			1									1							1							1						0. 037		
	G(28) -F(30)				0. 5																				1									1							1						1	1					0.045		
	G(36) - <u>F</u> (38)					0.5																				1									1						1							1					0.052		
	G(42) − <u>F</u> (50)				<u> </u>		0.5													<u> </u>							1								1							1							1				0. 083		
	G(54) -E(63)				ļ			0. 5																				1					ļ			1							1							1			0. 110		
	G(70) -F(76)							0	. 5																			1		Ш							1					Ш	1		\perp	Ш	\perp	\perp	Ш	1	Ц	\perp	0. 130	1	
	G(82) -F(83)								0.	5	1																	_	1				_					1						1							1		0. 150		
	G(92) -E(101)		Ш							0.	5															Ш		\perp	\perp	1	_					\perp	Ш	1		Ш	\perp	Ш			1	Ш	\perp	₽!	Ш		\sqcup	1	0. 170	1	
	G(104) -E(101)				L					0.	5									L											1					\perp		1	ı						1			╧				1	0. 170		

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

1-2 参考歩掛り 公共建築工事積算研究会参考歩掛り(案) 表RM-2-5 定 行 現 ダクト附属品 (2/2) ダクト附属品(2/2) ダクトエ 材 料 ダクトエ 材料 要 単位 その他 要 単位 その他 /ンパー等[個] [人] [人] 0.1 m² 以下 0.42 0.1 m² 以下 0.42 0.44 0.2 m² 以下 0.44 0.2 m² 以下 0.46 0.3 m² 以下 0.3 m² 以下 0.46 0.4 m² 以下 0.48 0.4 m² 以下 0.48 0.5 m² 以下 0.50 0.50 0.5 m² 以下 0.6 m² 以下 0.55 0.6 m² 以下 0.55 0.60 0.7 m² 以下 0.7 m² 以下 0.60 0.8 m² 以下 0.65 0.8 m² 以下 0.65 風量調節ダンパー(VD) 逆流防止ダンパー(CD) 0.9 m² 以下 個 0.70 1式 風量調節ダンパー(VD) 1式 0.9 m² 以下 モーターダンパー(MD) 0.75 1.0 m² 以下 1.0 m² 以下 0.75 1.2 m² 以下 0.80 0.80 1.2 m² 以下 0.90 1.4 m² 以下 0.90 1.4 m² 以下 1.6 m² 以下 1.00 1.6 m² 以下 1.00 1.8 m² 以下 1.10 1.10 1.8 m² 以下 2.0 m² 以下 1.20 2.0 m² 以下 1.20 1.30 2.2 m² 以下 1.30 2.2 m² 以下 2.4 m² 以下 1.40 1.40 2.4 m² 以下 0.1 m² 以下 0.45 0.1 m² 以下 0.45 0.2 m² 以下 0.48 0.48 0.2 m² 以下 0.3 m² 以下 0.50 0.3 m² 以下 0.50 0.4 m² 以下 0.53 0.4 m² 以下 0.53 0.5 m² 以下 0.55 0.5 m² 以下 0.55 0.6 m² 以下 0.60 0.60 0.6 m² 以下 0.7 m² 以下 0.65 0.7 m² 以下 0.65 防 火 ダ ン パ ー (FD) 0.8 m² 以下 0.70 防 火ダンパー(FD) 防煙ダンパー(SD) 0.8 m² 以下 0.70 防煙ダンパー(SD) 防火防煙ダンパー(SFD) 個 1式 0.9 m² 以下 0.75 0.9 m² 以下 0.75 1式 防火防煙ダンパー(SFD) ピストンダンパー(PD) 1.0 m² 以下 0.80 ピストンダンパー(PD) 1.0 m² 以下 0.80 排煙ダンパー(SMD) 1.2 m² 以下 0.90 1.2 m² 以下 0.90 1.00 1.4 m² 以下 1.4 m² 以下 1.00 1.6 m² 以下 1.10 1.10 1.6 m² 以下 1.8 m² 以下 1.20 1.8 m² 以下 1.20 2.0 m² 以下 1.30 2.0 m² 以下 1.30 2.2 m² 以下 1.40 2.2 m² 以下 1 40 2.4 m² 以下 1.50 2.4 m² 以下 1.50 風 量 測 定 口 個 0.23 1式 風 量 測 定 口 個 0.23 1式 ベントキャップ 0.20 1式 ベントキャップ 個 0.20 1式 0.2 m² 未満 0.30 0.2 m² 未満 0.30 か所 点検口(ダクト用) 1式 点検口(ダクト用) か所 1式 0.2 m² 以上 0.32 0.2 m² 以上 0.32 (注) 1. 「その他」の率対象は、ダクト工とする。 (注) 1. 「その他」の率対象は、ダクト工とする。

公共建築工事積算研究会参考歩掛り(案)

現 行

3. 【第3節 自動制御設備工事】

3-1 一般事項

(1) 本節に定める参考歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。

3-2 参考歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
- イ. 小規模な建物及び部分的な改修工事等の自動制御設備に適用する。
- ロ. 自動制御設備は、小規模な建物及び部分的な改修工事等に適用することを原則とし、この場合の計装工事は、公共建築工事標準単価積算基準 第3編電気設備工事 第1章第1節1配管工事及び2配線工事による。
- (2)細目工種

(自動制御設備)

表RM-3-1【専】

自動制御機器(1/	(2)						
			材料				
細目	摘要	単位	温度検出器等 [個]	電工 [人]	調整費	その他	備考
	室内用			0.22			2位置、比例
温度検出器	挿入形(ダクト用)	個	1	0.43	材料費×0.1	1式	
	〃 (配管用)			0.95			タッピング共
サーモプレート		個	1	0.40	材料費×0.1	1式	
湿度検出器	室内用	個	1	0.22	材料費×0.1	1式	
部 灰 快 田 前	挿入形(ダクト用)	旧	1	0.43	7月7年頁 <0.1	114	
ダンパ用モータ		個	1	0.48	材料費×0.1	1式	ダンパ本体の取付は含まず。 リンケージ、架台取付共
弁 モ ー タ		個	1	0.22	材料費×0.1	1式	弁本体の取付は含まず。 リンケージ共
ダンパ・弁用 補助スイッチ		個	1	0.36	材料費×0.1	1式	
ポテンションメーター		個	1	0.36	材料費×0.1	1式	
圧力調節器	電気式	個	1	0.95	材料費×0.1	1式	
圧力検出器	電子式·空気式	個	1	0.95	材料費×0.1	1式	
油面検出器		個	1	0.95	材料費×0.1	1式	
CO2発信器		個	1	1.90	材料費×0.1	1式	
工業計器	· constantination	台	1[台]	1.90	材料費×0.1	1式	圧力発信器・差圧発信器 ・液面発信器
漏水テープ		m	1[m]	0.06	材料費×0.1	1式	検知器本体は別途盤内

- (注) 1. 労務には機器の取付け及び結線を含む。
 - 2. 「その他」の率対象は、電工及び調整費とする。

3. 【第3節 自動制御設備工事】

1-2 参考歩掛り

3-1 一般事項

(1) 本節に定める参考歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。

3-2 参考歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
- イ. 小規模な建物及び部分的な改修工事等の自動制御設備に適用する。
- ロ. 自動制御設備は、小規模な建物及び部分的な改修工事等に適用することを原則とし、この場合の計装工事は、公共建築工事標準単価積算基準 第3編電気設備工事 第1章第1節1配管工事及び2配線工事による。
- (2)細目工種
- (自動制御設備)

表RM-3-1 【専】 自動制御機哭 (1/2)

日動制御機器 (I/	Z)						
細目	摘 要	単位	材 料 サーモスタット等 [個]	電工[人]	調整費	その他	備考
	室内形			0.22			2位置、比例
ルームサーモスタット	挿入形 ダクト	個	1	0.43	材料費×0.1	1式	
	ル 配管			0.95			タッピング共
サーモプレート		個	1	0.40	材料費×0.1	1式	
	室内形			0.22			
ヒューミディスタット	挿入形 ダクト	個	1	0.43	材料費×0.1	1式	
ダンパ用モータ		個	1	0.48	材料費×0.1	1式	ダンパ本体の取付は含まず。 リンケージ、架台取付共
弁モータ		個	1	0.22	材料費×0.1	1式	弁本体の取付は含まず。 リンケージ共
ダンパ・弁 用 補 助 スイッチ		個	1	0.36	材料費×0.1	1式	
ポテンションメーター		個	1	0.36	材料費×0.1	1式	
圧力調節器	電気式	個	1	0.95	材料費×0.1	1式	
	室内形			0.22			
温度検出器	挿入形 ダクト	個	1	0.43	材料費×0.1	1式	
	ッ 配管			0.95			タッピング共
No ote IA iii 00	室内形	(res	_	0.22	de hatel with a con-	1式	
湿度検出器	挿入形	個	1	0.43	材料費×0.1	11	
圧力検出器	電子式·空気式	個	1	0.95	材料費×0.1	1式	
油面検出器		個	1	0.95	材料費×0.1	1式	
CO2発信器		個	1	1.90	材料費×0.1	1式	
工業計器		台	1[台]	1.90	材料費×0.1	1式	圧力発信器・差圧発信器 ・液面発信器
漏水テープ		m	1[m]	0.06	材料費×0.1	1式	検知器本体は別途盤内

- (注) 1. 労務には機器の取付け及び結線を含む。
 - 2. 「その他」の率対象は、電工、調整費とする。

公共建築工事積算研究会参考歩掛り(案)

1-2 参考歩掛り

表RM-3-1

定

自動制御機器 (2/2))						
細 目	摘要	単位	材料 調節器類等 [個]	電工[人]	調整費	その他	備考
自動制御盤類	壁掛形 自立形	面	1[面]	2.4 4.8	材料費×0.1	1式	
中央監視盤	デスク形	面	1[面]	9.6	材料費×0.1	1式	
データロガ		面	1[面]	2.8	材料費×0.1	1式	
アフタクーラ		基	1[基]	(1.5)	材料費×0.1	1式	設備機械工
エアタンク		基	1[基]	(4.0)	材料費×0.1	1式	設備機械工
エアフィルター		基	1[基]	(0.4)	材料費×0.1	1式	設備機械工
ヘッダー		基	1[基]	(2.0)	材料費×0.1	1式	設備機械工
除湿装置		台	1[台]	(1.3)	材料費×0.1	1式	設備機械工
減圧弁装置		組	1[組]	(1.2)	材料費×0.1	1式	配管工
※調節器類	電子式 空気式	個	1	0.95 0.75	_	1式	
※ステップコントローラ		個	1	1.50	_	1式	モーター取付け含む
※バランシングリレー		個	1	0.75	_	1式	
※ リレー 類		個	1	0.38	-	1式	
※トランス		個	1	0.35	_	1式	
※手動操作器		個	1	0.30	_	1式	
※温湿度指示計		個	1	1.80	-	1式	切換リレー類、指示切換 ユニットは除く
※温湿度記録計		個	1	1.80	_	1式	
※切換スイッチ		個	1	0.30	_	1式	
※ 変 換 器 類		個	1	0.53	_	1式	

- (注) 1. 労務には機器の取付け及び結線を含む。
 - 2. 労務歩掛りの()は、設備機械工又は配管工を示す。
 - 3. ※印は盤内に組込む場合を示す。
 - 4. 「その他」の率対象は、電工及び調整費とする。 なお、アフタクーラ、エアタンク、エアフィルター、ヘッダー及び除湿装置は、設備機械工及び調整費とし、 減圧弁装置は、配管工及び調整費とする。

自動制御機器(2/2)

材料	
香丁	備 考
自動制御盤類 <u>壁掛形</u> 面 1[面] <u>2.4</u> 材料費×0.1 1式	
中 央 監 視 盤 デスク形 面 1[面] 9.6 材料費×0.1 1式	
デ ー タ ロ ガ 面 1[面] 2.8 材料費×0.1 1式	
アフタクーラ 基 1[基] (1.5) 材料費×0.1 1式 設備機械	工
エ ア タ ン ク 基 1[基] (4.0) 材料費×0.1 1式 設備機械	工
エアフィルター 基 1[基] (0.4) 材料費×0.1 1式 設備機械	工
ヘ ッ ダ ー 基 1[基] (2.0) 材料費×0.1 1式 設備機械	工
除湿装置 台 1[台] (1.3) 材料費×0.1 1式 設備機械	工
減 圧 弁 装 置 式 1[式] (1.2) 材料費×0.1 1式 配管工	
※調節器類 電子式 個 1 0.95 - 1式 空気式	
※ステップコントローラ 個 1 1.50 - 1式 モーター	取付け含む
※バランシングリレー 個 1 0.75 - 1式	
※ リレー 類 個 1 0.38 – 1式	
※ トランス 個 1 0.35 – 1式	
※ 手動操作器 個 1 0.30 - 1式	
※温湿度指示計 個 1 1.80 - 1式 切換リレー コニットに	ー類、指示切換 は除く
※温湿度記録計 個 1 1.80 - 1式	
※切換スイッチ 個 1 0.30 - 1式	
※ 変 換 器 類	

現

行

- (注) 1. 労務には機器の取付け及び結線を含む。
 - 2. 労務歩掛りの()は、設備機械工又は配管工を示す。
 - 3. ※印は盤内に組込む場合を示す。
 - 4. 「その他」の率対象は、電工、調整費とする。

なお、アフタクーラ、エアタンク、エアフィルター、ヘッダー、除湿装置は、設備機械工、調整費とし、 減圧弁装置は、配管工、調整費とする。